

令和7年度 岩手県立平舘高等学校経営計画

校長：千葉 賢

1 校訓・教育目標		【校訓】「開拓者精神」 【教育目標】自ら課題をみつけ、主体的に課題の解決に向き合う姿勢を持ち、他者と協働できる人材の育成	
2 スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	以下の資質・能力を育成します ①自ら考え自分の言葉で表現できる力 ②他者と協働しながら社会で活躍できる行動力 ③多様な価値観を認め交流できる対話力 ④自己指導能力（【基本精神：自勝・自彊・自立・自尊】の培い） 自勝：自分に勝つ。自彊：自分を励まし努力する。自立：自分の力でやり抜く。自尊：プライドと自己肯定感を持つ。	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	以下の教育実践に取り組みます ①生徒個々の状況に応じた支援や個別最適な学びを推進することでの学力の向上 ②課題解決能力の育成を図るための総合的な探究の時間（【八幡平市探究】）を通した主体的な学習の実践 ③社会に貢献できる力を身につけるための地域連携、産学連携及び学校間連携の充実を図り、様々な体験・交流ができる学びの推進及び社会に必要とされる人材であることの自覚による自己肯定感の育み ④地域の活躍する大人との交流を通して多くキャリアに触れることでの職業観の育成 ⑤部活動や行事・生徒会活動など生徒主体の活動の充実	
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	以下の生徒を歓迎します ①探究心が旺盛で地域の課題解決に積極的に取り組む生徒 ②他者の立場や考えを尊重し思いやりのある行動やコミュニケーションを大切にする生徒 ③目標達成に向けて失敗を恐れずチャレンジ精神で物事に取り組み、努力を惜しまない生徒 ④八幡平市の大自然の魅力を実感しながら自分の可能性を伸ばしたい生徒 ⑤命と絆を大切に強い意志と優しい心をもって誰かのために頑張れる生徒	
3 魅力化協働パートナー		八幡平市、八幡平市商工会、八幡平市企業懇談会、I-Attract. 代表鈴木絵美氏、障害福祉サービス事業所「パイの家」、平舘高校同窓会、特別養護老人ホーム麗峰苑他	
4 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 主体的な学びの定着と学習指導の充実により、わかる・力がつく授業で基礎・基本を定着させる	・授業に満足しているか(R6評価 96.1%) 【90%以上】
		イ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・いじめの未然防止等の指導に適切に対応しているか(R6評価 67.0%) 【80%以上】
		ウ 総合的な探究の時間や部活動・生徒会活動において生徒の「やりたい」を重視した活動を推進するとともに、ボランティア活動や地域の行事への参加を推奨し、充実した高校生活を送らせる	・この学校に入ってよかったと思う(R6評価 77.0%) 【80%以上】
		エ キャリア教育を充実させるとともに、個に応じたきめ細やかで適切な指導により進路目標を実現させる	・生徒一人一人に応じた進路指導がなされているか(R6評価 89.1%) 【90%以上】
		オ 職員は、いかなる場合でも生徒の人権を尊重し、暴言・暴力・セクハラ等により生徒の心身を傷つける言動をしない	・教職員は日頃から生徒の人権を尊重した言動を行っているか(R6評価 100%) 【95%以上】
		カ 保護者・地域に開かれた学校として、双方向から連携を強化し、「地域に必要とされる学校・信頼される学校の構築」に努める	・保護者との連携を大切にし、PTA活動が行われているか(R6評価 91.0%) 【90%以上】
	(2) 取組方針	ア (7) 多様な生徒に対応できる授業の実現（基礎基本の定着、主体的な家庭学習、個別最適な教材の準備、個々が主体的に課題を設定し探究、解決策を考える） (4) 授業評価アンケート結果（年3回）を受けての授業改善・工夫 (7) ICTを活用した授業の研究・研修・実践、協働的な学びの実現	
イ (7) いじめの早期発見と解消に向けた組織としての対応及び研修の活用等による教職員の資質能力の向上を図る。（SNS問題やいじめ防止等に向けた環境作り） (4) 基本的な生活習慣の確立とインクルーシブ教育の実践 (7) 生徒の成長支援のための適切な助言、称賛等の励行（少しの進歩を見逃さない） (エ) 生徒指導・特別支援のための組織的な対応と関係機関（警察・医療機関・行政・支援団体・支援学校・中学校等）との多様な連携体制の構築			

(様式1)【高等学校用】

		ウ (ア) 総探や家庭クラブ研究など地域性を生かした特色ある学校づくりの推進 (イ) 部活動やボランティア活動、地域行事への参加の推奨 (ウ) 生徒会活動の充実
		エ (ア) 地域や大学等と連携した進路学習の推進 (イ) インターンシップの充実 (ウ) 生徒一人一人の特性にあった就職先の斡旋 (エ) 生徒の可能性を最大限に生かした志望校の決定と受験体制の早期構築
		オ (ア) 職員研修を活用したコンプライアンスの確立 (イ) 「岩手モデル」を意識した生徒指導、教育品質の保証、使命感・倫理意識の保持
		カ (ア) P T A 活動の活性化（学校行事への参加者数の増加） (イ) C S の活動を通して新たな付加価値の発見に努め、委員との連携・強化の構築
		その他 (ア) 働き方改革の推進（業務改善、I C T の活用と合理化、行事の精選、運営の工夫） (イ) 働きやすい職場環境の構築（風通しの良い雰囲気醸成、全員参加型の学校組織マネジメントの推進、互いが「学び合える、高め合える、支え合える」組織力のある教育現場）